佐和高校同窓会
会報
つつじ 君の心…

第3号
平成25年６月１日

同窓会名称及び会報名称について

各名称について、総会終了後のアンケートにて募集し、次のように決定いたしました。

同窓会名称「つつじ」は、佐和高校の校章であり、皆様にとっては懐かしく、親しみやすい花であることと思います。つつじの花の種類は５００以上を越えるともいわれ、本会も「つつじ」のように、個性豊かな花を咲かせ、実を結べるような会へと発展していきたいとの願いを込め採用させて頂きました。

「君の心」は、アンケートで一番多かった校訓から引用しました。「…」とは、会員の皆様ご自身で、言葉を入れていただくことにより、初めて完成する、また、会員の皆様のその時々の心境や状況により、言葉を変え、当時を懐かしんだり、励みや支えとなるような会報作りをしたい、ということ意味を込めて、つけさせていただきました。

今後は、同窓会「つつじ」、会報「君の心…」をよろしくお願い致します。

総会・懇親会報告

平成二十四年十二月二日（日）茨城県立佐和高等学校第二回総会が、「ホテルレイクビュー水戸」にて開催されました。

当日は、お天気にも恵まれ、各地より六十名を越す会員の参加がありました。

午前十一時に、総会が始まりました。まずは、物故者への黙祷をさせて頂き、亡くなられた先生方や同窓会会員の冥福を祈りました。次に、甘利同窓会会長、続いて、名誉会長である藤田現校長から挨拶を頂きました。

次に、議長団の選出が行われ、議事へと移りました。議事では、報告並びに二件の議案について審議が行われ、全てにおいて可決し、総会は滞りなく終了致しました。

総会終了後、出席会員一同による記念撮影が行われ、続いて、懇親会が開催されました。

懇親会は、旧職員、現職員、同窓会会員相互が垣根なく語り合う事の出来る場となりました。会場の片隅には、同窓会会員の活躍をお伝えする展示コーナーが設けられ、また、現在の佐和駅から佐和高校周辺の様子を撮影したＤＶＤが上映されるなど、終始なごやかな雰囲気の中、進められました。

一、開会

午前十一時、無事に総会の開会となりました。物故者への黙祷の後、甘利同窓会会長の挨拶がありました。社会に出てから感じた、同窓会の繋がりの有難さや、母校の活躍を讃えるぬくもり溢れる内容に、一同が気持ちを一つにした時間でした。

続いて、名誉会長である藤田校長先生より挨拶を頂きました。現在の佐和高生が学習や部活動に生き生きと取り組む姿や活気あふれる学校行事のお話など、同窓生としては、とても頼もしく、また喜ばしい内容のお話を伺う事が出来ました。

二、議事

会長、名誉会長の挨拶の後は、議長団の選出となりました。議長団の選出方法につきましては、会場から「同窓会事務局から推薦して欲しい」との声があがりましたので、事務局から、二回生の平川さん、八回生の中庭さんの両名が推薦され、満場の拍手をもって承認されました。その後、議長団の進行により、速やかに議案の審議に移りました。今回の総会での議案は次のとおりです。

一、報告第一号　同窓会活動報告
　平成二十二、二十三年度の活動について報告がありました。
二、報告第二号　同窓会会計報告
　平成二十二、二十三年度の会計について報告がありました。
三、会計監査報告
　上記会計についての監査結果の報告がありました。
四、議案第一号　平成二十四、二十五年度期事業及び予算案について
　事業及び予算案についての議案が審議されました。
五、議案第二号　同窓会役員の選任について
　会則に基づき、次期同窓会役員の選出が行われました。役員は会場より「事務局案の提示」が求められたため、事務局が提示した役員案について審議されました。
六、その他
　その他、この場にて議事とすべき事項を提案願いましたが、今回は議案の提案はありませんでした。

審議は、同窓生の協力の下、滞りなく円滑に進み、同窓会事務局が提出した議案は、全て可決されました。

新役員紹介

会　長　國井　丈尚（二回生）
副会長　篠原　隆人（三回生）
　　鈴木　晃（十二回生）
書　記　千葉　伸子（一回生）
　　照沼　雄介（十二回生）
会　計　小西　清美（三回生）
　　関　佳子（三回生）
監　査　菊池　則夫（二回生）
　　大津　勝也（三回生）
顧　問　甘利　浩行（一回生）

三、記念撮影・懇親会

総会終了後、一同は別室に移動し、記念撮影を致しました。その後十二時より、いよいよ懇親会の開会です。

最初に、同窓会名誉会長の藤田現校長から挨拶を頂き、新役員の紹介となりました。

出席頂いた職員の方々を代表し、久信田前校長先生より、佐和高校勤務当時の同窓会との強い絆を伺えるような内容のお話を頂きました。その後、藤田現校長のご発声にて乾杯、用意された料理や飲み物を楽しみながらの歓談となりました。同期生同士で囲むテーブルあり、先輩後輩で歓談するテーブルあり、とても賑やかな雰囲気の中、時間が流れて行きました。近況報告として、旧職員の横須賀先生、浅野先生からは、佐和高校での思い出や、先生方の近況をお聞きすることが出来ました。また、現職員の窪木教頭先生からは、現在の佐和高生の様子を伺い知ることの出来るお話しを頂きました。生徒達の、落ち着きの中にも活気ある学校生活を知り、同窓生として微笑ましく感じたものです。

次に、同窓会役員が撮影した、現在の佐和高校の校舎内部と、佐和駅からの道のりを記録したＤＶＤが上映され、懐かしさや驚きに感嘆の声も上がりました。

最後に、全員での校歌斉唱です。壇上には、旧職員の横須賀先生と現職員で生徒指導部長であります横山先生が上がって下さり、会場にいる全員が思いを共有しながらの大熱唱となりました。締めくくりは、國谷先生の力強いご発声で、「フレーフレー佐和高」そして、私達同窓会に対しても「フレーフレーつつじ」と、会員全員でエールの唱和を致しました。

閉会のご挨拶は、横山先生から頂き、佐和高校及び同窓生一同の今後の健康と更なる発展を祈念しつつ、名残惜しさの中、閉会となりました。

四、会員の声

当日、事務局よりアンケートをお願いしましたところ、多数の貴重なご意見やご感想を頂くことが出来ました。多くの方から、「楽しい時間を過ごす事が出来た」「母校の近況を知る事が出来て良かった」等、好意的な感想を頂くことが出来、同窓会役員一同とても嬉しく、また有難く感じた次第です。一方で、「先生方や同窓生がもっと出席していると、さらに良かった」というご意見も頂きました。今後は、より多くの同窓生に出席して頂けるよう、役員一同、一層の努力をしてまいります。

助成金一覧

氏名・団体名	学年	大会別	大会等名称	開催地	団体・個人別	交付額	交付月日
菅原　菜々柄恵（陸上）	3	関東	第56回関東高校陸上競技選手権大会（女子走り高跳び）	茨城県	個	20,000	H22. 7
萩野谷　安己帆（家庭クラブ）	3	全国	第58回全国高校家庭クラブ研究発表大会	福岡県	個	50,000	H22. 7
川松　唯（写真）	2	全国	第34回全国高校総合文化祭	宮崎県	個	50,000	H22. 9
横須賀　敦（弓道）	2	関東	第29回関東高校弓道個人選手権選抜大会	東京都	個	30,000	H22. 9
菅原　菜々恵 掘田　愛里（陸上）	3 1	関東	第83回関東陸上競技選手権大会	埼玉県	個	50,000	H22. 9
菊池　千里（陸上）	2	関東	第14回関東高校選抜新人陸上競技選手権大会（女子3000m）	栃木県	個	30,000	H23. 1
吹奏楽部		全国	2010（第16回）日本管楽合奏コンテスト	東京都	団	80,000	H23. 1
中林　みやこ（写真）	2	全国	全国高校総合文化祭	福島県	個	50,000	H23. 7
菊池　千里 掘田　愛里（陸上）	3 2	関東	第84回関東陸上競技選手権大会	栃木県	個	40,000	H23. 7
堀田　愛里（陸上）	2	関東	第15回関東高校選抜新人陸上競技選手権大会（女子砲丸投げ）	東京都	個	30,000	H23.10
横須賀　敦（弓道）	3	関東	関東高等学校弓道個人選手権選抜大会	東京都	個	30,000	H23.10

平成22・23年度会計報告

報告第２号

茨城県立佐和高等学校同窓会「つつじ」平成２２・２３年度会計報告

収入額　１２，５０９，９９９円
支出額　１，６２１，６０８円
差引残額　１０，８８８，３９１円

（収入の部）　（単位　円）

項目	予算	決算	比較増減	摘要
同窓会入会費	2,400,000	2,265,000	△ 135,000	H22卒業生　65,000円×223人 H23卒業生　65,000円×230人
繰越金	10,224,460	10,224,460	0	現金　1,921,243円 定期預金　8,303,217円
雑入	25,540	20,539	△ 5,001	繰入金，預金利子等
収入計	**12,650,000**	**12,509,999**	**△ 140,001**	

（支出の部）

項目	予算	決算	比較増減	摘要
名簿整備費	105,000	106,680	1,680	メンテナンス費用　53,340円×2年
同窓会誌発行費	700,000	650,839	△ 49,161	会報印刷費用　238,875円 会報発送費用　411,964円
総会費	-	-	0	
会議費	100,000	8,284	△ 91,716	通知発送費，会場費，飲み物代
入会式関係費	472,000	302,955	△ 169,045	卒業記念品費　292,955円 諸経費（弁当，交通費）
助成金	700,000	520,000	△ 180,000	部活動への助成金　460,000円 学年同窓会への助成金　60,000円
雑費	30,000		△ 30,000	振込手数料等
予備費	10,543,000	32,850	△ 10,510,150	卒業式車代 入学式祝電
支出計	**12,650,000**	**1,621,608**	**△ 11,028,392**	

（資産の内訳）
現金　２，５６５，２２５円
定期預金　８，３２３，１６６円

茨城県立佐和高等学校同窓会平成２２・２３年度会計について，上記のとおり報告します。
平成２４年１２月２日

茨城県立佐和高等学校同窓会会長　甘利　浩行

新会長挨拶

新会長
國井丈尚

昨年の12月2日に行われました第2回茨城県立佐和高校同同窓会総会において会員の皆様からご承認をいただき、今期同窓会長を務めさせていただくことになりました第2回卒業生の國井でございます。

皆様より日頃からご支援ご協力を賜り、同窓会事業を遂行できますことに対して深くお礼を申しあげます。

第3回の会報発行に当り、ご挨拶させていただきます。

同窓会の活動に対して、ご理解とご協力頂き心より感謝申し上げます。

私たち同窓会は昭和63年、一期生の卒業と共にスタートし、今年で25年目を迎え卒業生も24年度の第25回卒業生を加えると、６，０００人を超える組織となりました。

佐和高校同窓会も25年の節目を刻み、おなじ学び舎で青春時代を過ごした仲間との絆を深め、後輩を支援するための活動を行っております。

佐和高校のホームページなどを活用させて頂き少しでも同窓会の様子を伝えると共に、総会の案内など、タイムリーな話題の提供にも努めて行きたいと思います。

同窓会という組織の主な役割は、今後社会に出て行く生徒たちを我々の仲間として温かく迎え入れてあげることではないかと考えております。

そのためにも会員同士のネットワークを作り、会員相互の交流を深めることは言うまでもありません。そして、この同窓会を会員の皆様が、これらのネットワークを積極的に活用して頂けるようになることを望んでおります。

１００年に一度とまで言われる大不況が世界を襲ってから、早数年が経とうとしています。大不況、不景気は、私たちの周囲にも否応なしに襲ってきています。行き慣れたお店の閉店や倒産、友人知人のリストラや失業。そうした苦難が日常になっています。同窓会会員の皆様の中にも、そうした苦境の中にある方は数多くいらっしゃるのではないかと思います。そんな中同窓会を利用し、人脈を作り、情報を共有し、協力することにより、少しでも苦しい状況を乗り切ることは出来るのではないでしょうか。

昨年の12月には4年に1度の同窓会総会が開催され、年末の忙しい中歴代の校長先生をはじめ諸先生方や卒業生の方々の出席を頂き第1回ほどの人数は集まりませんでしたが、それでも盛大に開催することが出来ました。

今後この総会が、懐かしい恩師や友人と旧交を温める場として、会員相互の交流を深める場としてだんだんに定着して行けるように今後も勤めてまいります。また、総会や会報などを通して同窓生同志の交流が深まり、母校への皆さんの思いが結集できますよう、これからも微力ではございますが取り組んで行こうと、役員一同考えております。

新しい時代に入った母校と共に末永く本同窓会が続いて行けるよう、役員全員で心を合わせて運営に当たらせていただきます。行き届かない点も多々あると思いますが、今後とも同窓会ならびに佐和高校の発展にご協力いただけますよう心よりお願いいたします。

顧問挨拶

顧問（二元会長）
甘利浩行

「皆さんが社会に出て、そこで得たものを、皆さんの後輩にも与えてあげてください。それは、今いる後輩はもちろんのこと、今後何年、何十年と続く、この学校の歴史の中で、育ってゆく後輩たちに対してもです。」これは私が毎年卒業生にお願いしていることです。

皆さんも経験したかと思いますが、毎年卒業式の前日にその年の卒業生が同窓会に加入するための式が行われますが、この際に毎年この言葉を述べさせていただいています。

茨城県立佐和高等学校同窓会も、25周年という大きな節目を迎えることとなりました。会員数も、この春に第26回卒業生を迎えることにより、６千人５百人を超えることになります。

これほど多くの卒業生が社会に出て、様々な場で活躍をしているということは、これから社会に出て行こうとする在校生たちにとって、大変心強いことなのではないかと思います。

目には見えなくても、同じ学校の卒業生であるということで、そこには大きな繋がりが存在していることになります。

社会に出て私たちが得たものとは、経験であり、人脈であり、場合によっては名声や地位といったそれぞれの立場から受ける様々な恩恵でありますが、それをこれからの後輩達に与えてゆくことが、先に卒業した者の使命ではないかと思います。

けれどもその繋がりは目に見えるものではありませんので、私たちが普段生活していても特に意識していないかもしれません。

しかし、例えば有名な俳優やスポーツ選手がこの学校の卒業生だと知ったとき、その人のことはよく知らなかったとしても親近感がわくのではないでしょうか。

人との繋がりが目に見えるものになったとき、またそこから新たな繋がりが生まれ、そられの繋がりが、この社会の中で人に大きな影響を与えるのではないかと思います。

私たち同窓会の存在は、まさにその繋がりを目に見えるものにするためにあるのだと常に思っています。

同窓会の活動においては、昨年12月に第2回の総会を行い今後の活動計画の承認をいただいたところであります。

いままでも同窓会名簿の整備や同窓会報の発行、学年同窓会への助成等といった様々な活動をしてまいりましたが、今後は更に卒業生の皆様やこの学校の在校生のため、様々な活動に取り組んで参りたいと思っております。

私事で大変恐縮ですが、先の総会において会長の職を後任に引継がせていただきました。

私は、第2代目の同窓会長として15年以上にわたって就かせていただいたことになりますが、今まさにこの同窓会も一つの節目を迎えたのではないかと思います。

まだまだ他の歴史ある学校から見れば歴史も浅く若い同窓会でありますが、多くの人たちの協力をいただきながら、少しずつ活動の幅を増やしてきました。

特に本部役員としてそれぞれに仕事や家庭を持ちながら同窓会のために頑張ってきていただいた皆さんには感謝してもしきれない気持ちでいっぱいです。

これから茨城県立佐和高等学校も30年、40年とその歴史を刻んでゆく中で、さらなる同窓会としてのあり方が必要になってくることと思います。

そこにはきっと多くの人の力が必要になってくることがあるかもしれませんが、そのときは、皆さんが社会に出て得たものを少しずつでも分けてください。

私も微力ながら、今後もこの学校と同窓会の発展のため協力をさせていただきたいと思っています。

名誉会長挨拶

名誉会長（校長）
藤田雅一

同窓会会誌「君の心・・・」

私は、平成24年4月に校長として赴任してまいりました。

本校は、生徒も学校をとりまく環境も穏やかで、高校生活を送るには本当に良いところです。

中国の古代思想『老子』に「大国を治むるは小鮮を烹るが如し」という言葉があります。佐和は18クラス、まさしく「大国」であり（ちなみに前任校は山方商業高等学校で閉校になりました。最後は1クラス生徒19名でした。）、体制が出来上がっており、特に機能しない部分がある、というわけではありません。従来のやり方を踏襲することが良策と思っています。

創立当時に定められた校訓『君の心に聴け』の精神がとても重要視されていることに少々驚きました。他にあまり例を見ない校訓でもあり、生徒諸君の心に響くものがあるのです。

しかし、全く課題がないわけではありません。社会の変化をまともに受けて生活する生徒諸君の心の中には「穏やか」ではない部分があり、時として外に現れることになります。そして、多くの場合、自らを傷付けることも少なくありません。心優しい分、他人へ転嫁することができないのでしょう。

学校の環境もそうです。林に囲まれた緑ゆたかな環境ですが、すぐ近くには原子力関係機関があります。東日本大震災レベルの震災に見舞われたとき、どう安全を確保するかについては我々の考えを越えています。そのような観点からみると、本校においても様々な課題が存在することが明らかなのです。

東日本大震災に触れたので、若干付け加えさせていただきます。当日、生徒は全員無事に避難しました。建物は、耐震構造となっていたので、大きな被害はありませんでした。しかし、本校が、ひたちなか市の避難所に指定されていることで、近隣の住民の方々が避難され、震災後しばらくコスモホールを避難所とされていました。約1ヵ月後、常磐線の復旧とともに学校は再開することができました。現在では、ほとんど震災被害の痕跡も見ることはできません。

地震に備え若干の飲料水やブランケットを用意しました。また、非常用の太陽発電システムの設置も決まっています。

さて、今年は本校創立28年。2年後の平成26年度に創立30周年の記念事業を行う予定です。昨年11月30日に同窓会代表、ＰＴＡ・後援会代表、学校関係者で準備委員会を発足させました。今後、同窓会として大いにご協力をいただきたく存じます。

最後に、平成17年度から3年間、本校の校長を務めた橋本実先生が9月に亡くなられました。水戸商、水城で甲子園に行かれた本校を代表する監督さんでした。橋本先生のご冥福をお祈りして、皆さんとともに黙祷をささげたいと存じます。

同窓会からのお知らせ

佐和高校創立30周年記念事業について

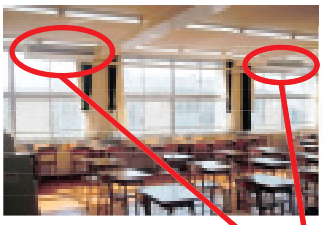
同窓会会員の皆様には日頃より同窓会活動にご協力・ご愛好頂き有難うございます。

来る平成26年11月7日私たちの母校であります茨城県立佐和高等が創立30周年を迎え記念式年が行われます。

同窓会しては周年行事を記念し、記念品の寄贈及び同窓会会員名簿の発行を予定しております。

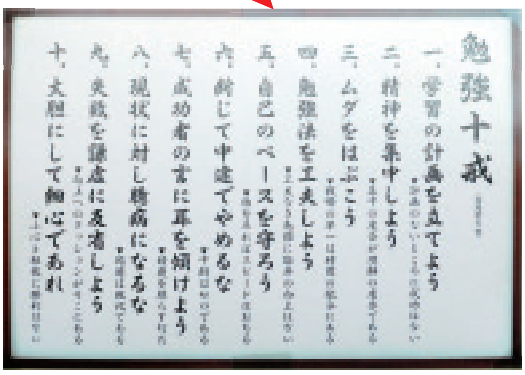
記念品につきましては、先日行われました総会においてもご報告させていただきましたが、新規に創設されました学習室へのエアコン2基を寄贈という形で平成23年に前倒しで実施させていただきました。

また、同窓会会員名簿については、平成16年の創立20周年の際に記念事業の一つとして一度実施しておりますが、その際に住所の確認が取れなかった方々や、『住所を記載しない』と希望された方については確認が取れない状態になっております。そのため、現在でも同窓会会報や総会・懇親会の案内が発送できない状態となっております。そのため、今回の会員名簿作成に当っては専門業者に委託し追跡調査までを行い同窓会名簿の精度をより高いものにして行こうと考えております。今後業者の方から会員の皆様に会員名簿についてのご案内が送付されると思いますので、ご協力いただけますようお願いいたします。



30周年記念として
同窓会から寄贈した
エアコン2基

学習室



卒業生近況報告

第４回（平成３年３月）卒業　櫻井貴史

佐和高校同窓生・竹雀綾人（たけすずめあやひと）と申します。無論本名ではありません。筆名と言うやつです。本名だとか何回生だとかは秘密ということで。何の因果か運命の悪戯か、２０１１年５月に集英社スーパーダッシュ文庫と言う中高生向けレーベル、いわるゆ『ライトノベル』から本を出させていただきました。

タイトルは『少女と移動図書館』、僭越ながら私のデビュー作となります。

この場を借りてご報告させていただきます。

以下あからさまな宣伝です。

本作はtwitter上で連載していた作品を一冊に纏めたという特殊な作品で、ライトノベルとしてはおそらく初です。

そのおかげで少々話題にはなったのですが、正直あまり売れていません。

ここは一つ同窓生のよしみということで、ぜひともお買い上げ下さい。

観賞用、保管用、贈呈用、予備と４冊買って下さい。とはいいませんが。

既に１年以上前の作品なので店頭には無いと思います。書店にてご注文いただくか、ネット通販（amazon等）でご購入いただければ幸いです。

以上あからさまな宣伝でした。

会誌の貴重なスペースにこのような記事を載せてくださった同窓会役員の皆様に感謝いたします。

最後に佐和高校のますますの発展と同窓生の皆様の更なるご活躍を、そして個人的に二作目も皆様に披露できますことを祈願いたしまして筆を置かせていただきます。

掲載記事募集

同窓会では会報への掲載記事を募集しております。同期会やOB会・クラス会の記事，近況報告や同窓生に関するイベント・お店紹介など内容は問いません。
掲載ご希望の方は同窓会事務局までご連絡下さい。

私達、第４期卒業生は、世界では東欧諸国が民主化革命に揺れ、中東の湾岸戦争、国内では元号が「昭和」から「平成」に移り、バブル景気の多少の陰りが見えてきた雰囲気の中、高校生活を送り卒業を迎えた世代です。実にひと昔ふた昔前の時代ではありますが、佐和高校で過ごした日々の思い出は未だ鮮明に記憶しております。

私は佐和高校卒業後、その年の秋に渡米し現地の大学に進学しました。それは高校時代に抱いた夢に従った選択でした。国際政治学と近代史を専攻し１９９６年に卒業することになりますが、かつて抱いた夢は一旦保留し、日本に帰国。なぜならば、異国の地において自国の文化の大切さに気付かされたのです。以来、まことに日本の文化に関係した家業に入ることを決心いたしました。

現在、ひたちなか市（旧勝田地区）金上大平にて「有限会社　人形と造花　宝玉」を営んでおります。取扱品目は、ひな人形、五月人形、鯉のぼり、祭り提灯、名入れ提灯、盆提灯、羽子板、破魔弓、花輪、盛篭、生花、仏壇、仏具、祝額、返礼品等です。

一年を通して同じ商品を店頭に置くわけでなく、季節ごとに売り出し品目が変わるため時期の合間の店内転換が大変ではありますが、それぞれ違った華やかさを感じつつ、脈々と繋がる古来よりの伝統文化の一端を担う気持ちで日々営業しています。

この土地で三七年営業していますが、来店されたお客様が「自分の人形もここの店で買ったんですよ。」と言ってもらえるのが、一番うれしいです。親から子へ受け継がれているのを実感いたします。先の東日本大震災においては陳列商品であった五月人形はすべて倒れてしまいましたが、震災後約２週間で全商品を入れ替え、電気等の復旧とともにお買い求めに来られた方が見えられました。当然お客様も被災者ではありますが、祝ってあげたいとの事でのご来店だったそうです。あのような状況でもお客様がご来店下さるのはうれしいものです。

その年ごとの流行や、お客様の好み、飾る場所やスペースの問題もありますので、お客様のライフスタイルに合わせた商品のアドバイスを心がけ、お客様のご要望にお答えし、ご納得していただけるよう努めてまいります。

ご来店の際は、佐和高校出身の旨教えて頂ければ、通常割引からさらに特別割引でご奉仕させていただきます。

有限会社　人形と造花　宝玉
ひたちなか市大平３－１０－８
☎０２９－２７４－５５００
http://www.hougyoku.net/

現在の学校の状況

茨城県立佐和高等学校
ホームページアドレス　http://www.sawa-h.ed.jp/

平成23年度　進路決定状況　（2012．3．30現在）

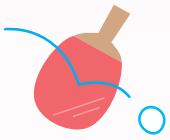
進路分野		決定者人数			未定者人数		
		男	女	合計	男	女	合計
国公立大学		2	0	2	0	0	0
私立大学		45	39	84	0	0	0
私立短期大学		0	24	24	0	0	0
公共職訓		2	0	2	0	0	0
専門学校	看護系	0	12	12	0	0	0
	その他	22	46	68	0	0	0
就職	公務員	0	0	0	0	0	0
	一般企業	7	22	29	0	0	0
中計		78	143	221	0	0	0
未定・その他		4	5	9	4	5	9
合計		82	148	230	4	5	9

平成22年度　進路決定状況　（2011．3．31現在）

進路分野		決定者人数			未定者人数		
		男	女	合計	男	女	合計
国公立大学		5	4	9	0	0	0
私立大学		36	46	82	0	0	0
私立短期大学		0	13	13	0	0	0
公共職訓		6	0	6	0	0	0
専門学校	看護系	2	10	12	0	0	0
	その他	19	40	59	0	0	0
就職	公務員	1	0	1	0	0	0
	一般企業	8	18	26	2	5	7
中計		77	131	208	2	5	7
未定・その他		5	10	15	3	5	8
合計		82	141	223	5	10	15

平成24年度　功労賞（表彰規定）該当者

功労賞　※今年度の卒業生を対象に、表彰規定に該当する生徒を表彰するもの



陸上部（１名）
平成24年度　北関東高等学校陸上競技選手権大会　……　**第７位**
３年６組　堀田　愛里

卓球部（２名）
平成24年度　全国高等学校総合体育大会卓球の部茨城県予選会　ダブルス　…　**第３位**
（県民総合体育大会兼国民体育大会茨城県大会）
３年２組　小林　真希
３年６組　小滝　脩平
平成23年度　第64回東京卓球選手権大会ジュニアの部　……　**出　場**
３年２組　小林　真希　（**茨城予選会　第３位**）

弓道部（６名）
平成24年度　全国高等学校総合体育大会弓道の部茨城県予選会　女子団体　…　**第３位**
３年４組　久貴谷七海　　３年４組　船﨑　早織
３年５組　金子　愛実　　３年５組　佐藤　優希
３年５組　本田　諄海　　３年５組　矢沢　愛

写真部（１名）
平成23年度　第35回全国高等学校総合文化祭写真の部　……　**出　展**
平成24年度　第19回関東地区高等学校写真展　……　**出　展（予定）**
３年３組　中林みやこ

家庭クラブ（１名）
平成23年度　茨城県高等学校家庭クラブ連盟　第59回家庭クラブ研究発表大会　……　**県知事賞**
３年６組　軍司　圭太

生　徒　会（２名）
生徒会役員　計４期
３年４組　安島　啓太　会長２期　副会長１期　書記１期
３年１組　佐藤　正人　副会長２期　書記２期

文化的活動（１名）
平成23年度　大好きいばらき作文コンクール　……　**茨城県教育長賞**
「私の選んだ道」
３年６組　小林ひかり

事務局だより

この度の同窓会総会並びに懇親会の開催に際し、案内通知が届かなかった会員の方々には、誠に申し訳なく思っており、心よりお詫び申しあげます。

同窓会では、平成十六年度に同窓会名簿を発行いたしましたが、その際、住所の確認が取れなかった方、その後、住所変更をされなかった方、また、会員名簿作成の際『住所を掲載しない』と希望された方については住所の確認が取れない状態になっております。

つきましては、会員の方々の現住所を調査して参りたいと思っておりますので、お名前の変更や住所の異動等があった場合や、お知り合いの方で住所の確認が取れていない方がいらっしゃる場合は『佐和高校ホームページ（アドレスは本ページ上部に記載）・同窓会からのお知らせ』から様式をダウンロードしていただき、佐和高校事務局宛に送付してくださるようお願いいたします。

（申し訳ありませんが、この場合の輸送費用は自己負担となりますのでご了承ください。）

編集後記

日頃より同窓会活動にご協力頂き有難うございます。

今回第三号の同窓会会報を発行出来ましたことを非常に喜んでおります。

今回の発行に当りお忙しい中、快く原稿依頼を引き受けてくださいました皆様には心よりお礼申し上げます。会報を見てあの人、この人が今こんなにがんばっているんだ、自分たちの後輩がこんなにがんばっているんだ…と何か感じてもらえたら嬉しく思います。

また、この会報を切っ掛けに学年同窓会やクラス同窓会が活発になり、会員皆様方の絆が深まって行くとに繋がれば幸いです。

まだまだ行き届かない点もあると思いますが、これからもより良い会報に育てて行くためにも皆様からの色々な情報及び、会報への投稿をお待ちしております。